

# 石巻日日新聞

石巻日日新聞社  
〒986-0874  
石巻市双葉町8番17号  
電話 0225-95-5231  
フックス 0225-94-4720  
郵便振替口座 02240-3-4424

◎石巻日日新聞社 2016  
Hibi-net  
http://www.hibishinbun.com  
info@hibishinbun.com

ビル・リニューアルメンテ

## 同和興業

石巻市中里三丁目6番12号  
TEL 9866271  
FAX 9843679

## 介護支援のりぶらす 子育て支援のベビスマ

# 連携でダブルケアに備え

## スマイルで母親向け講座

石巻地方で介護福祉分野の支援に取り組む一般社団法人りぶらす(橋本大吾代表理事)が子育て中の親を対象とした介護講座に乗り出した。晩産化と高齢化が進行し、子育てと親の介護を同時に行うダブルケア状態の人が増える中、備えとして知識を身につける場を提供していく。10月には石巻市蛇田の子育て支援拠点「スマイル」で初の講座を開いた。

母親が第一子を出産する年齢の国内平均は、平成25年現在で30・4歳と、晩産化の傾向にある。さらに少子高齢化や核家族化などの背景が、ダブルケアの問題に直撃する人が増加中。国の推計では全国で25万人、男性8万人、女性17万人がダブルケアに当たっているという。子育てと親の介護の両立は介護者の肉体的・精神的な負担を招きやすい上に、経済的負担の増大にもつながる。ダブルケアに当たっているのは30〜40代の働き盛りが8割。主に女性が担っており、17万人のうち4割は介護や育児のために仕事を辞めざるを得ない状況にある。具体的には、介護費用の増大も予想される。



「介護が必要となる前から学び、話し合うことが大事」と語る千葉さん(右端)

新規事業であり、石巻地方の子育て支援に取り組むベビスマイル(石巻市荒木裕美代表)の協力で講座の実施に至った。

### わが事として関心

10月20日に開いた初の講座には、8人の母親たちが参加し、りぶらす職員が千葉久美さんが講師を務めた。介護にまつわる基礎知識やダブルケアの背景、子育てと介護をそれぞれにかかせる費用・時間的負担などを伝えた。また本人や親類など、介護が必要となった場合の対応を事前に話し合っておく重要性が特

## コバルトレー写真展 東北覇者への道のり再び 30日まで 石巻ニューゼ



館内に飾られた写真を眺める中里小の児童たち

東北社会人サッカーリーグ一部を初制覇したコバルトレー写真展が8日、石巻市中央の石巻ニューゼで始まった。今年創設10周年を迎えたチームが、リーグ戦で初優勝を手にするまでの軌跡をたどる写真が並ぶ。観覧無料。30日まで。悲願のJFL昇格をかけて11日から挑む「全国地域サッカーチャンピオンズリーグ」での勝利を期待し、同館と石巻日日新聞社が主催した。会場には果敢にゴールを狙う選手を中心に、声援を送り続けたサポーターも多かった。時間は午前10時〜午後6時。月曜定休。問合せは同館(☎981-7322)まで。

に強調された。講話のほかに質疑応答の時間も設けられ、参加者からは「子育ての場合は大変な中にも子どもがかわいいていう楽しみがあるが、介護には何かがあるか」とや「今は元気な親や、夫の親の将来について」とまで踏み込みにくいという声もあがり、ダブルケアの背景や、ベビスマイルの協力で、月に1度のペースで講座を開く予定。介護や介護予防などを掘り下げたテーマも扱っていき、親同士の情報交換会なども催している。千葉さんは「いささか構想」といって、自分自身の人生を生きられるように、知識の浸透を図っていきたいと話していた。